

イギリス演劇研究 ―シェイクスピアのことばと舞台―

専任講師 今野史昭

1. 研究内容

シェイクスピアは今から400年以上も前に活躍したイギリスの劇作家ですが、その作品は世界的に有名な古典として、現代でも様々な国々で上演され、いまだに多くの人々に台詞が引用されています。このように時代や国境を越えて観客と読者を魅了し続ける名作の、豊かなことばの世界と一緒に味わってみませんか。さらに、過去の有名な上演だけでなく現代の上演にも目を向け、いまを生きるシェイクスピアについても考察してみましょう。

このゼミでは、受講生の希望を聞いた上で、シェイクスピアの作品から有名な場面をいくつか選び、翻訳も大いに参考にしながら、その台詞を丁寧に読んでいきます。また、舞台や映画等の映像資料を観て、時代や国によって異なる作品解釈と演出についても学びます。

2. ゼミの進め方

《2年次》

舞台映像や映画を観ながら、一つの作品を丁寧に輪読し、初期近代英語の文法と語彙、演劇と詩の基礎を学びます。随時、発表と討論を行います。また年に一回程度の観劇も予定しています。合宿は夏に実施します。

《3年次》

様々な作品の有名な場面を読み、シェイクスピア劇の理解を深めます。また、各自の興味のあるテーマで個人研究を行います。さらに、年に一回程度の観劇も予定しています。合宿は夏に実施します。

《4年次》

3年次に引き続き、全員で数々の名場面を読みながら、個人研究を行います。各自の研究成果を論文やレポートにまとめます。年に一回程度の観劇も予定しています。合宿は夏に実施します。

3. 教材

Cambridge School Shakespeareの中から受講者が希望する作品を教科書として指定します。

4. 成績評価の方法

発表、課題への取り組み姿勢、レポート、論文、ゼミ共同研究活動への参加状況等、総合的に判断します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

演劇、英語、翻訳、イギリス文化などに興味のある方、さまざまな英語表現を辞書で根気強く調べ、その先に見えてくる豊かなことばの世界を楽しみたい方は、是非受講してください。初期近代英語と現代英語の作品・文献を沢山読むので、英語（学習）が苦手な方にはこのゼミは不向きかもしれませんが、やる気と情熱があれば大丈夫です。